

会員卓話

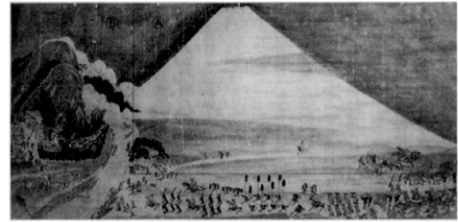
花森 良郎 会員

白隠禅師の思想について



本日は、家具の話をとりましたが、世界的に良くないので、別の話をすることにしました。

江戸時代の中期、静岡県沼津市原に生まれた、「白隠慧鶴」という禅宗のお坊さんがいました。白隠の描いた絵で、中に163人の人が描いてあるそうです。富士山の下にある1本の道に飛脚や旅人など4人がいます。その下には、大名行列があり、細かく見ると、林のところに茶店があります。この構図は、「一般の生活」と「大名行列」の2つに分け、世の中を批判しているのです。



富士大名行列圖

白隠は「一揆のものは、百姓でなく、役人である。」という激烈な政治批判を「辺鄙以知吾(へびいちご)」という本の中に書いています。この本は禁書となっていました。



5月12日・13日・14日に静岡新聞に特集されていた記事を用意しました。
日銀静岡支店長の武藤清さんの記事です。

◆禁欲の倫理

…他人が必要とする商品やサービスを合理的な価格で供給することが神に対する義務となる。
結果として利益が得られるが、それは悪ではなく、義務の達成度合いを証明する尺度となる。ただし現世的な欲望は否定されるので、富の追求を目的として暴利を貪ってはならず、また得られた利益を個人的な消費や投機に回すことは許されない。

…中小生産者階層が実践した結果、合理的な経営資源の配分と損益計算、適正価格での市場取引、利益の産業資本としての蓄積という、今日の資本主義経済の基礎が形成されたのであった。

(静岡新聞5/13日 武藤清 日銀静岡支店長 「金融危機から何を学ぶか」より)

委員会報告

- ・グルメ同好会(見城会員)
6/25(静岡ガスにて、会費1,000円)
- ・親睦委員会(高橋委員長)
6/29最終例会(会費5,000円)

出席報告…………… 杉山 貴章 副委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	5/11	45名	39名	6名	—	1名	87.0%
前 回	5/18	44名	38名	6名	86%	(名)	—
本 日	5/25	45名	36名	9名	80%	(名)	—